

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16109009	合成骨形成蛋白の骨形成能を臨床実用化するための統合的技術の開発	高岡 邦夫（大阪市立大学・大学院医学研究科・教授）	A
BMP（骨形成蛋白）の臨床応用に向けて有効な合成デリバリー単体を開発し、動物実験で広範囲な骨欠損の修復が可能であることを実証した。この成果は今後の臨床での使用を現実的にするものである。さらに、コンピューターナビゲーションを使用して3次元造形システムによるインプラント材作成とBMPの併用研究は臨床での応用を一層具体化したものであろう。しかし、BMPの低廉化については明確な情報が乏しい。 総合的には研究は順調に進捗し、その成果の国際誌への報告や社会へのアピールも十分になされており、目的を達成していると評価する。			